

第**19**回

SEV

チャリティ走行会 2024

2024.10.18(FRI) TSUKUBA-CIRCUIT COURSE2000



SEVチャリティ走行会公式Facebook

開催情報やリザルトなどを配信しています。
ぜひ フォロー&いいね をお願いいたします！



ご挨拶

「SEV チャリティ走行会」は「参加者全員がモータースポーツを楽しむ」ことを、第一の目的として開催されます。本走行会によって金銭的な利益を得る者はなく「参加者がサーキットで過ごす有意義な1日」が、最大の利点といえます。また、本走行会収益の一部は「全国盲導犬施設連合会」に寄付されます。

さて、本走行会は本年、開催19回目を迎えることとなりました。これもひとえにご参加いただいたエントラントの皆様、ご支援いただいた皆様方のお陰であり、心よりお礼申し上げます。今後とも皆様のご支援を切にお願い申し上げます。

前回の走行会には、たくさんのエントリーおよび募金をいただき、ありがとうございました。皆様からお預かりしたエントリーフィーの一部及び募金を、2010年までは全国盲導犬施設連合会へ寄付しました。2011～15年は、東日本大震災支援基金へ寄付させていただきました。目の不自由な方へ少しでも何か力になれることを考え、2016年からまた寄付先を「全国盲導犬施設連合会」に戻しました。

皆様の善意のおかげで2004年第1回開催～2023年、第18回開催までの寄付金合計額が6,600,000円に達しました。本当に感謝致します。

本年度の走行会は、「盲導犬チャリティ走行会」として開催することに致しました。このイベントを通じ募金を集め、参加した皆様方の思いが支援の一助となることを願っております。

大会会長 若林 守男

SEV チャリティ走行会 2024

2024年10月18日(金曜日)開催

■SEV チャリティ走行会 実行委員■

大会会長	若林 守男	組織委員長	関 啓幸
審査委員長	若林 守男	審査委員	森田 善雄
競技員長	橋本 和彦	競技委員	佐藤 隆史
事務局長	大門 明美	事務局	近藤 牧子

Marshal SEV OFFICIAL STAFFS/ Scuderia CeT

■協力■筑波サーキット

■企画■(株)ダブリュ・エフ・エヌ

■主催■(株)ダブリュ・エフ・エヌ

□大会趣旨

「SEV チャリティ走行会」は「参加者全員がモータースポーツを楽しむ」ことを、第一の目的として開催されます。
本走行会によって金銭的な利益を得る者はなく「参加者がサーキットで過ごす有意義な1日」が、最大の利点といえます。
また、本走行会収益の一部は「全国盲導犬施設連合会」に寄付されます。

□開催日時/開催場所

2024年10月18日(金曜日) 筑波サーキット コース2000(茨城県千代川村)
雨天決行

□タイムスケジュール(暫定・詳細は当日発表)

ゲートオープン	5:00～
Aパドックオープン	5:30～
参加受付	5:45～ 6:30
ドライバーズブリーフィング①	6:45～ 7:15 (フリー走行及びグリッド決定について)
車検①(競技参加車)	7:00～ 8:00 (レギュレーション、安全面の確認)
T-CAR 車検	7:15～ 8:00 (レギュレーション、安全面の確認、ガソリン残量確認 車検合格後パルクフェルメ保管)
フリー走行/予選	8:00～ 9:30 (走行車両は、車検を終了している事)
車検②	9:15～10:10 (ガソリン残量測定)
ドライバーズブリーフィング②	9:40～10:10 (決勝について)
コースイン、グリッド整列	10:20～
決勝	11:00～16:00

※当日のスケジュールは、とてもタイトです。十分な人員を揃え車検、ブリーフィング等に備えてください。

□開催当日 スペシャルイベント

エントラント、ギャラリー向けにイベントを企画しています。会場内に居るすべての方が参加できます。

○チャリティサーキット体験走行(無料)

なかなか走る機会の無い、筑波サーキット本コースをベースカー先導で体験走行できます。
普段通勤に使っている車でもOK。ヘルメットもスーツもいりません。定員まで、同乗走行もOKです。
(シートベルトは必ず付けて走行してください。安全を考えてペースはゆっくりです。)

申告時間は、サービスセンターまで 8:30～9:00 の間に必ず申し込んでください。

走行時間は、当日発表します。9:45～10:30 の間に行う予定です。

10分間経過した時点で、全車ピットロードに入ります。満足した方は、コース外へ出てください。

走り足りない方は、続けて走ってもOKです。ドライバー交代もこの時にしてください。その他詳細は、当日発表。

○チャリティサーキットの裏側ツアー(無料)

サーキットイベントの運営は、何処でどんな風に行われているのか裏側をお見せします。

コントロールタワーや大勢のスタッフで行われているタイム計測など見ていただく予定です。

☆ 当イベントは、善意の寄付でまかなわれています。お気持ちで結構です。ぜひ盲導犬協会へ寄付をお願いいたします。
チャリティボックスは、会場内数か所に設置されています。

□エントリー受付期間/方法

2024年9月2日(月)～10月4日(金)(必着)※参加申込順位は、入金順とします。

受付は先着順28台まで。申込用紙と参加料を現金書留にてお送りください。

参加費用は銀行振込も可能です。入金をもって参加申込とします。

また、締切り前であっても予定参加台数(28台)になり次第、受付を終了させていただきます。

□クラッシュした車両、オフィ□エントリーフィー

150,000円/1チーム(1台)

この他ドライバー1名につき500円の傷害保険料が必要です。

□傷害保険

必ず、レースに出走するドライバー全員が傷害保険に加入してください。傷害保険未加入の方が、レースに出走した場合、チームに失格処分を適用します。

申込書記載以外の追加加入は、AM7:00まで受付にて保険加入できます。以降受付は致しません。

※加入には、氏名、血液型、住所、氏名、電話番号が必要です。

□申込用紙、現金書留の送り先・問い合わせ先

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-3-2 タイセイビル3F(株)ダブリュ・エフ・エヌ内 SEVチャリティ走行会事務局

TEL:03-3440-4810 FAX 03-3440-6685 担当:荒田、佐藤

※銀行振込の場合 みずほ銀行 五反田支店 普通口座 5556754 口座名:セブ友の会(セプトモノカイ)

□参加受理 エントリー受理者には、申込締め切り後事務局より参加受理書が郵送されます。(10月初旬予定)

定員に達した場合、事務手数料2,000円を差引き、申込者に返金いたします

□参加車両規定

- 1) 主燃料 ・ガソリンエンジン車 (ガソリンハイブリッド車含む)
- 2) 必要安全装備
 - ・ロールバー 適切な取付がされている物、且つ十分な強度の有る物
 - ・灯火類 ストップランプ、ウインカーが正常に点灯、点滅すること
 - ・シートベルト 4 点式以上、暫定的な取付で有ってはならない
※大会組織委員会は、HANS(ハンス)装着を強く推奨する
 - ・牽引フック 前後必要、純正の物も可、暫定的な取付で有ってはならない
 - ・消火器 2kg 以上、作動する事、確実に取付されている事
 - ・窓 運転席の窓は全閉出来る事、ウインドウネットでも OK
(ウインドウネット取付方法は JAF 国内競技車両規則の基準に準ずる)
- 3) タイヤ ・市販タイヤ(スリックタイヤは不可) ・いかなる場合も車体と接触してはならない
- 4) マフラー ・車体寸法より出てはならない(レース専用車両としてラインオフされた車両は除く)
- 5) エンジン始動 ・音量 110dB 以下(必ず 1 つ以上の消音器を備えて有る事) ホームストレート通過時に測定
- 6) 特別参加区分 マフラー最後尾に取りつけるボルト締めインナーサイレンサーは不可
(取りつける場合は溶接で確実に取りつけ脱落しない事)
・参加車両は、自車に搭載されているバッテリーで駆動するセルモーターでエンジン始動が出来る事
・レース専用車両としてラインオフされた車両は、GT1 のみ参加できる。
※レース専用車両解釈⇒ザウルス、レジェンドカー、ビータ等 (フォーミュラタイプの車両は NG)

□クラス分け(申込時自己申告)

GT-1 オープンクラス (制限無し)

GT-2 タイムペナルティクラス(周回タイムが 1 分 12 秒 000 より遅いタイムで走行するクラス)

0 分 00 秒 000 から、1 分 11 秒 999 までのタイムは、ペナルティとして取り消され 決勝周回数には含まない

□参加募集台数

GT-1、GT-2 (2 クラス合計で 28 台 合計台数を優先し各クラスの参加台数は前後する)

□フリー走行について

- 1) 1) コース及びピットエリアは解放 走行時間終了 3 分前にチェッカー
- 2) 運転席の窓は全閉(ウインドウネットはこれに代るものとする)
(ヘルメットのアゴヒモは必ず閉めてください。ピットエンドでチェックします)
- 3) ピット上の停止義務時間は設定しない(ドライバー交代など)
- 4) ピットエリアの制限速度は 40km/h 以下 (速度違反は中度～重度のペナルティ対象)
- 5) ピットエリアでの給油は禁止、A パドック内、ガソリンスタンドで給油する事
- 6) ピットエリアでの車両整備は禁止
エアーチェック、トルクチェック、ショックの減衰力調整等の軽度な整備は可
(不明な点は、近くのオフィシャルに聞いてください)
上記以外の車両整備は、A パドック内で行うこと
- 7) ピットエリア進入人数はドライバーを含め 5 名までとする
- 8) ピットロードとピットエリアを別けるイエローラインより、コース方向へ出ることは禁止!
たとえビス 1 本、工具 1 個でもペナルティの対象とする。車両のドア、人間も同様

□競技について

- 1) 5 時間の耐久レース形式の走行会とする
- 2) 参加台数は上限 28 台とする
- 3) グリッドはフリー走行中の予選タイム順、スタートはローリングスタートとする
- 4) GT-2 は 1 分 12 秒 000 より早いタイムで走行した周囲は無効とする
- 5) ひとりのドライバーの連続走行時間は 1 時間 10 分以内とする(給油時間含む) ※給油時間を除くと 60 分
- 6) 給油はサーキット内ガソリンスタンドで給油券にて、1 回に 20 リットル以内の給油が出来る
価格、詳細については当日のドライバーズミーティングで発表する
- 7) スタート時の燃料搭載量は 30L を上限とする。※詳しくは、スタート前給油の欄を参照
- 8) 賞典は GT-1、GT-2、各クラス 6 位まで(参加台数により変動)。他特別賞も有り。
- 9) 5 時間の走行時間中に、主催者、オフィシャルの判断により、ペースカーが入ることが有る。
- 10) クラッシュした車両、オフィシャルによってマナー違反と判断された車両には、周回数の減算、失格等のペナルティが課せられることがあります
- 11) その他競技中に、ペナルティの判断が有った場合、ペナルティ等の裁定に対する抗議は一切受け付けられない

□グリッド順の決定(フリー走行=予選)

- 1) グリッド順の決定は、フリー走行中のベストタイム順で決定する
タイムが同タイムの場合、排気量が小さい車両を上位グリッドとする
排気量が同じ場合は、チーム代表者の年齢が上の車両を上位グリッドとする
チーム代表者の年齢が同じ場合は、大会組織委員会で決定される
- 2) フリー走行中 GT-2 参加車両が 1 分 12 秒 000 を上った場合、最後尾スタートとする
- 3) グリッド順は、クラスに関係なくタイム順で並ぶ事とする

□ドライバー必要装備品(車検時ドライバー全員の必要装備品を同時に検査する。)
レーシングスーツ・フルフェイス若しくはジェットヘルメット(オープンカーはフルフェイスヘルメットにシールド必要)
フェイスマスク・レーシンググローブ・レーシングシューズ以上5点を装着義務とする。
※上記5点は、FIA公認であることが望ましい。又、ヘルメットは、フルフェイス+ハンスを強く推奨する。

□車両検査

指定時間内に、車検場にて行うものとする。
ドライバー全員の必要装備品を同時に検査する。

□油券の販売について

- 1) 20Lの給油券をサービスセンターにて8時30分から9時30分の間、販売する
- 2) 給油券の価格は当日発表 ☆11時までは、スタンドで現金給油が出来る☆

□スタート前給油「重要！」

スタート時の搭載燃料は上限30Lとする。

フリー走行終了後、車検場にて各エントリー車両のガソリン残量をチェックします。
ガソリンタンク内(コレクターも含む)を空に出来る準備をしておいてください。
判断は、目視、スケール、フューエルポンプの空打ち等で行います。
そのままガソリンスタンドで30L給油しタンクに封印をします。
この封印は、スタート後1回目の給油時まで剥がさない事。失格等のペナルティ対象になります。

ノーマルタンク車両は、ガソリン残量計、ガソリン警告灯等でも判断します。
車両のタンク容量の判別の出来る資料(カタログ、整備解説書等)をお持ちください。
オフィシャルが残量を判断し、給油量を指定します。

※空タンクでスタート前給油を行った車両を有利にする為下記条件を加えます。

- ・エンプティランプでのガソリン残量判断
- ・ガソリン残量計でのガソリン残量判断

上記2つの判断方法で残量を決めた場合

- ・給油量は、給油できる量の80%とします。
- ・Empty (E) ライン上を残量10Lとします。

例 タンク容量50Lの車両の場合

- ・ガソリン警告灯の点灯確認で残量10Lと判断 スタート時点のガソリン残量が上限30Lですから
 $30L - 10L \times 80\% = 16L$ 給油出来ます。
- ・ガソリンの残量計での判断 Eラインで10L残と判断 残り容量40Lがメーター上の数値ですから
残量計が5分の1(20%)を表示していた場合 $40L \times 20\% = 8L$ (残量)
スタート時点のガソリン残量が上限30Lですから $(30L - 10L - 8L) \times 80\% = 9.6L$ 給油出来ます。

※規定量以上のガソリンが残ったままスタートする車両には、周回数減算のペナルティで対応します。
ガソリン残量及び給油量に関するクレーム等は、お受け出来ません。

□耐久レース スタート方法(フォーメーションラップは有りません。スタート方法が、通常と違います)

- 1) 参加車両は、10時30分～10時40分の間、ピットロード逆走で最終コーナー出口(1番ピット側から)コースへ進入、グリッドへ整列、ピットロード、コース内は10キロ規制、危険走行禁止
10時40分までにグリッドに付けない車両はピットスタートになります。
↓
- 2) グリッド整列後エンジン停止(10時40分)ドライバー紹介等、ガソリンタンク封印検査
↓
- 3) エンジン始動アナウンス スタートドライバー以外はコース外へ
↓
- 4) 3分前の表示→1分前の表示→30秒前掲示
↓
- 5) セーフティーカー先導でローリングスタート開始(隊列は1列で整列) セーフティーカーは、1周以上周回し、
隊列が整った時点で回転灯消灯 バックストレートでピットロードへ入ります。各車コントロールライン通過時まで、
1列で速度一定、車間一定を保ってください。

※SEV耐特別ルール

スタート後、コントロールラインのシグナルは青に変わりますが、1コーナーと1ヘヤの間にある1.5ポストを超えるまで
追い越し禁止とします。1.5ポストでグリーンフラッグを確認した時点で追い越し可能とします。
1.5ポストまでに故意に順位変更があった場合、反則スタートと見なします。

□レーススタート後

レーススタート時刻を、場内放送等でエントラントに報告

□最低及び最高周回数(時間)

- 1) 各ドライバーの最低周回数は、規定しない
- 2) ドライバー1人の最高連続走行時間は1時間10分とする(給油時間も含める)

□ピットエリアでの詳細(レース中)

- 1) ピットエリア進入人数はドライバーを含め5名までとする
- 2) ピットエリア上のイエローラインより、コース方向へ出ることは禁止
たとえビス1本、工具1個でもペナルティの対象とする 車両のドア、人間も同様にペナルティ対象となる
- 3) ドライバー交代
・サポート要員はドライバー、交代ドライバーの他に3名のみとする。
・サポート要員は、ドライバー交代の際、ピットエリアの安全を監視するものとする。
- 4) ピットボードの提示はピット内から行う
- 5) ピットロードの制限速度は40km/h以下
- 6) ピットエリア及びパドックでの給油は禁止
- 7) ピットエリアでの車両整備は禁止
エアチェック、トルクチェック、ショックの減衰力調整等の軽度な整備はOK
(不明な点は、近くのオフィシャルに聞いてください)
上記以外の車両整備はAパドック内で行うこと

□給油

- 1) レース中のガソリン補給は、1回につき20Lとしガソリンスタンドで行う
- 2) ガソリン補給の時間は10分間とし、同時にドライバー交代をする事が出来るが交代をする場合、ピットエリア内でドライバー交代をした後、給油スペースにて給油する事とする。
- 3) 給油時間中の車両整備等、全ての作業は禁止する。空気圧調整、トルクチェック、ドライバー交代も禁止!
- 4) 給油時は1人以上のサポートが付き、消火器を構え即座に消化出来る体勢で待機する
- 5) 給油スペース(ガソリンスタンド周辺)の速度は10キロ以下、手押し移動を推奨する
※給油スペースについての詳しい説明は、当日行います。

□アクシデント時の Safety Car (Pace Car)

- 1) Safety Car の進入停止車両・スタック車両の排除、オイル処理その他のために、Safety Car がコース内に入る場合がある。その場合メインポストで「SC」の表示が掲示。同時に全ポスト、イエローフラッグの振動によりドライバーに合図する。コース内追い越し禁止、全てのポストで、SCのボードを掲示する。
- 2) 隊列の作り方 SCのボードを掲示が有った場合、ベースカーが入り隊列を整える。この場合安全のため、必ずしもトップ車両の前に入るとは限らない(隊列が整いしたい、レスキューもしくは整備に入ります。スタッフ総動員になるため、旗の振動は無くなります。コースに常設してあるコーションランプは廻り続けます。)全車整列後、Safety Carの速度に従い周回を重ねる。コース整備のコースオフィシャルがコース上に居るため、蛇行運転等の危険行為は禁止。
(違反者はペナルティの対象)
- 3) Safety Car とレースカーおよびレースカー同士の間隔は一定に保ちあまり車間をあけてはいけない
故意に著しく車間をあけた車には、ペナルティを与える

□再スタート

- 1) コース内の停止車両の排除が終わり、安全確認がされしだい Safety Car は、ホームストレート、コントロールライン付近で回転灯を消しその周の内に、ピットロード入り口(裏ストレート中間)よりピットロードへ入る。
- 2) 各車コントロールラインを通過後レース再スタート SEV 耐特別ルール 1.5 ポスト通過時まで追い越し禁止
(ペナルティの対象、また、危険と判断される行為は、禁止)
SEV 耐特別ルール 1.5 ポスト通過時まで追い越し禁止(ペナルティの対象、また、危険と判断される行為は、禁止)

□Safety Car SC 表示時のピットロード

- 1) Safety Car 先導中のドライバー交代、ガソリンスタンドでのガソリン補給はOK
- 2) SC ボード掲示後、ピットエンドはクローズドとする
- 3) 隊列が整い、その隊列がピットエンドを通過してから、ピットエンドで停車している車両は、オフィシャルの指示に従いコース内入り隊列の最後尾へ付く
- 4) 隊列が通過した後に、ピットロード上で走行状態の車両は次の通過まで待機する(オフィシャル判断)
- 5) 信号が赤の場合でもオフィシャルの指示でコースインすることが出来る

□赤旗中断

- 1) 赤旗が出された場合、レースは赤旗と同時に中断する 赤旗中断時間はレース時間から減算される
- 2) 給油中車両の経過時間も赤旗と同時にストップする 赤旗解除でレースが再開されたのと同時に経過時間も動き出す
赤旗の詳細は、当日ドライバーズブリーフィングで詳しく説明します

□スタック&トラブル車両の救出

- 1) 車両がコース上又はそれ以外の場所でスタック又はトラブルで動かない場合、レッカー車が出動する場合コース上何処の位置で停車をしても、レッカー車は A パドック食堂脇のエリアに車両を運ぶ。スタック又はトラブル車両は十分に車両の清掃及び整備をした後、中央ゲートよりピットロードに入ることが出来る。
(A パドック内の制限速度は 20km/h 以下とする)
- 2) クラッシュ車両も、これと同じ

□走行中のドライバーの厳守事項(直接ペナルティに関わることです)

- 1) 走行中は、ヘルメット及び 4 点式以上のフルハーネス安全ベルト、レーシングスーツ、レーシンググローブ、レーシングシューズ等を確実に着用し、走行する事
- 2) 走行中にコースアウト等で、コース外へ出た車両が、コースに復帰する場合、後続車など他の車両の妨げとならないように注意し、安全を確認した上でコース復帰しなければならない
- 3) ピット、ピットロード及びコース内での、エンジンの押しがけは禁止する
- 4) ピットロードでの、バックギヤの使用を禁止する
- 5) 走行中ドライバーは故意に他の車両の走行を妨害してはならない明らかな妨害行為に関しては、
厳重なペナルティ(～失格まで)を宣告する
- 6) 走行中にドライバーは危険行為をしてはならない危険行為と判断された車両には、
厳重なペナルティ(～失格まで)を宣告する
- 7) コース外走行の禁止 第 1 ヘヤピン、最終コーナー出口の緑石(ゼブラ)を越えて走行する事を禁止する

※筑波サーキットは、総てのコースを録画記録しています。録画映像を見て審査委員会はペナルティを決定します。

□リタイヤ

走行中に故障、事故等により走行が継続できなくなったとチームが判断した場合には速かにリタイヤ宣告を近くのオフィシャルにしなければならない

□車両整備

A パドックで競技車両を整備する場合の注意事項

- 1) ジャッキアップして、車両下部へ進入する場合、軽度な作業であっても必ずリジトラック(うま)の使用を義務付ける。
違反チームには、失格のペナルティ
- 2) チーム監督は、作業の危険性を判断し安全な作業状況を指導する義務を有する

□ペナルティ

- 1) ペナルティは、現場スタッフより審査委員会へ報告後、審査委員会で協議され決定される
・軽度のペナルティ→各ピット代表者への警告
・中度のペナルティ→ピットストップペナルティ(各ピットで一時停止)
・重度のペナルティ→指定場所での 1 分～停車、又は失格
- 2) ペナルティの伝達
・競技車両へのペナルティ伝達は、メインポストでの「オレンジボール」掲示で行う
該当走行車両は、掲示後 3 周以内にピットロードに入りペナルティ消化をしなければならない
- 3) ペナルティ停車
・ペナルティの度合によりピットストップペナルティ及び、指定場所での停止(停止時間は度合によって変化)
ペナルティ停止の時に車両に触ることは出来ない(ドライバー交換禁止、給油禁止)
2 回のペナルティ停止時間を 1 度に取りすることは出来ない
以上のペナルティ消化は、本戦中に行う(時間経過に伴いペナルティが消化できない場合は 1 週減算とする)

○ペナルティの判断は大会審査委員会が行い、これに対してのクレームは一切受け付けない。

○ペナルティ対象車のチーム監督は、ペナルティを犯す度に、SEV テントの寄付金ボックスに寄付をしなければならない。
金額等は当日ドライバーズブリーフィングにて発表する
集められた寄付金は、SEV チャリティ走行会実行委員会が、責任を持って公益事業へ寄付させていただきます。

※大会組織委員会からのお願い

ルールは最低限守るべき物であり、ルールにモラルがプラスされてスポーツになります。
皆様の御力で笑って帰れるイベントにしてください。よろしく願いいたします。

※入場者の皆様へ

サーキット走行及び観戦には、危険が伴います。本走行会の組織、運営に関する者は、土地の管理者、運転者、走行車両の所有者を含め、如何なる事故のために入場者が損傷、死傷を受けた場合でも、これに対する保証・責任は一切追いません。各自安全を確保しながら楽しい 1 日をお過ごしください。

個人情報 お客様の個人情報の取り扱いについて、SEV チャリティ及びその関連団体は、お客様からご提供いただいた個人情報を次のとおり取り扱います。

①お客様からご提供いただいた個人情報を、次の目的のためにのみ利用します。

・お客様が大会へ参加するために必要な情報のため・申し込み内容に関して確認、連絡が必要な場合の問い合わせのため・参加者へ当日レポートを配布するため・SEV ホームページ等へ記事及びリザルトを掲載するため・その他別途お客様に同意していただいた目的に利用するため

②お客様からご提供いただいた個人情報は、次の場合を除き、第 3 者に提供いたしません。

・主催者及び走行会開催に必要な情報を提供するため・お客様の同意を得た場合・雑誌社より依頼を受けた場合・法令により提供を求められた場合

スペアカー登録制度

大会組織委員会は、エントラントの皆様に 1 日楽しく過ごしていただく事を目的にスペアカー登録制度を導入いたします。

□スペアカーの定義

- ・車種は限定しない
- ・メインカーと同一、若しくはそれ以上の安全性を有し、装備も同一若しくはそれ以上で有る事

□条件

- ・クラス変更は、認めない
- ・事前(申込時)に登録(登録料は無料、出走の場合 20,000 円のチャリティへの寄付)
- ・安全基準、クラスは同一

□交換のタイミングとガソリン残量

受付前の車両交換

- ・申請のみ、車両変更として処理 通常の競技車両として扱う

以下交換条件は、スペアカー登録がされており、車検①をスペアカーとして受けている事

□フリー走行時の車両交換

- ・車両交換申請後、確認車検を受け出走

□フリー走行終了後、決勝スタート前に車両交換

- ・車両交換申請後、確認車検を受ける
- ・ガソリンの残量は、スタート前給油に準ずる

□決勝スタート後の車両交換

- ・車両交換申請後車検を受け出走
- ・ガソリン残量は、20L 以下(車検①で確認後封印ステッカーが貼ってあること)
- ・再出走は、申請時間から 10 分間が経過している事

※車検①スペアカーの車検注意事項

- ・ガソリン残量は、20L 以下
- ・車検①合格後、ガソリンタンク、ガソリンの給油口に封印ステッカーを貼り車検場に保管

○スペアカー登録から車検、交換の流れ

車両申告書に、スペアカーを記入し登録完了

↓↓↓

当日、車検①でスペアカーも同時に車検

(ガソリンタンクは空の状態、若しくは 20L 以下を証明できること)

車検合格後、空タンの車両はガソリンを 20L 給油しタンクに封印

車検場裏の保管場所 (パルクフェルメ)に保管

この時点より、スペアカー出走申請があるまで車両には触れない

↓↓↓

<不慮の事態>

タワー3F に申請(代表者が申請に来てください。)

↓↓↓

確認車検後チームに引き渡し

↓↓↓

コース復帰(コース復帰する場合は、ゼッケンと計測器を付け変えてください)

レース中のコース復帰は、申請時刻より 10 分間が経過している事

<大会組織委員会より >

スペアカー制度は、車両トラブルで 1 日を無駄にしてしまうこと無く、皆様に楽しんでいただければと思い導入した制度です。交換時に多少時間が掛り順位を落した等のクレームはお受けできません。あらかじめご了承ください。

1 日楽しく過ごしましょう！

SEVチャリティ走行会2024年10月18日開催

参加申込書

年 月 日提出

参加者	フリガナ チーム名	フリガナ 代表者氏名
	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/> フリガナ	TEL ()-()-()
	代表者 住所	FAX ()-()-()
	mail Address @	携帯電話 ()-()-()

参加車両名 <small>15文字以内</small>	<input type="text"/>
参加車両 メーカー	<input type="text"/>
車種 グレード	<input type="text"/>
年式	<input type="text"/>
排気量	CC 加給器 有・無 <small>※排気量は車検証に記載されている数値を記入してください 加給器付き車両は加給器係数 1.7 を掛けた数値を記入してください</small>

参加クラス (参加クラス区分はクラス分けを参照の上
どちらかに○をしてください)

GT-1

GT-2

車両仕様書

項目	変更・取付または除去 その他改造等
エンジン 排気量 吸気 排気等	
サスペンション 駆動系 等	
タイヤ F R	メーカー 銘柄 サイズ メーカー 銘柄 サイズ
燃料タンク改造 <small>※必ず記入してください</small>	有 → 製造メーカー [] 容量 [Liter] 無 → ノーマルタンク容量 [Liter]
OIL キャッチタンク	有・無 メーカー [] 容量 [Liter] 大気解放 有・無
車室内 <small>※必ず記入してください</small>	ロールケージ [] 点式 材質 [] 消火器 [kg]
その他	

Car No. ※主催者使用欄

■大会組織委員会御中
参加車両は、筑波サーキットのコースまたはスピードに対して適格、安全であり、
かつ十分な走行が可能であることを誓約いたします。

年 月 日 / チーム代表者署名

印

■技術委員車検用車両チェックシート

項目	チェック	項目	チェック	項目	チェック	項目	チェック
飛散防止対策		警告灯		シートベルト		消火器	
ウインカーランプ		前照灯		ウインド		油漏れ	
ストップランプ		牽引フック前後		ロールケージ		その他	

※記載に不備が有る場合受付できません。必ず全項目書込をしてください。

スペアカー申請書

登録料 無料 ※事前登録をしないと、スペアカーで走れません。
午前8時00分走行開始から、車両交換時20,000円必要（チャリティーに寄付して頂きます。）

※記載に不備が有る場合受付できません。必ず全項目書込をしてください。

参加者	フリガナ チーム名	フリガナ 代表者氏名
-----	--------------	---------------

参加車両名 <small>15文字以内</small>															
参加車両 メーカー															
車種 グレード															
年式															
排気量	CC	加給器	有・無	※排気量は車検証に記載されている数値を記入してください 加給器付き車両は加給器係数 1.7 を掛けた数値を記入してください											

参加クラスは、メインカーと同一 **GT1** **GT2**

車両仕様書

項目	変更・取付または除去 その他改造等		
エンジン 排気量 吸気 排気等			
サスペンション 駆動系 等			
タイヤ F R	メーカー	銘柄	サイズ
	メーカー	銘柄	サイズ
燃料タンク改造 <small>※必ず記入してください</small>	有 \rightarrow	製造メーカー [容量 [Liter]
	無 \rightarrow	ノーマルタンク容量 [Liter]
OIL キャッチタンク	有・無	メーカー [容量 [Liter] 大気解放 有・無
車室内	ロールケージ [点式] 材質 [消火器 [kg]
その他			

Car No. ※主催者使用欄

■大会組織委員会御中
スペア車両は、筑波サーキットのコースまたはスピードに対して適格、安全であり、かつ十分な走行が可能であることを誓約いたします。
また、スペアカー使用の際は、申請と共に20,000円の寄付をする事を誓約します。

年 月 日 / チーム代表者署名



■技術委員車検用車両チェックシート

項目	チェック	項目	チェック	項目	チェック	項目	チェック
飛散防止対策		警告灯		シートベルト		消火器	
ウインカーランプ		前照灯		ウインド		油漏れ	
ストップランプ		牽引フック前後		ロールケージ		その他	